



春日小だより

ホームページ <http://www.scholweb.ne.jp/kiyosu/haruhi-e/>

平成22年7月号
清須市立春日小学校
TEL 052-400-3029
FAX 052-400-9155

プールには、子どもたちが泳ぐ水しぶきと歓声が響き渡り、いかにも夏の光景ならではの感があります。学校の回りの田んぼにも青々と成長した稲が一面に広がっています。ところで、田んぼではもうしばらくすると「中干し」という作業が行われるそうです。田植えの後、常に水がいっぱいになっていると、稲にとって有害なガスや酸が発生し、根の発育に悪影響を及ぼします。丈夫な稲を育てるためにあえて水を抜き、しっかりした根を張らせるために行うものです。子どもたちにも良いタイミングと方法で「中干し」を行いたいものです。

<読書週間(6/8(火)~18(金))>

教育相談の期間を含めた読書週間では、毎回、子どもたちが楽しみにしている「ゆめつむぎ」の会の皆様による読み聞かせが行われました。また、今年は、長い放課の時間を使って、図書委員会が低学年の子どもたちに紙芝居やクイズなどを行いました。

この期間を中心に、図書ボランティア「みどり」の会の皆様に図書室の本の整理などに来ていただいています。他にも、3年生地域探検での付き添いボランティア、PTA委員の方々による自転車点検など、様々なところでご協力をいただきました。本当にありがとうございます。



<自転車教室(6/29(火))>

西枇杷島警察署、春日地区交通安全協会、清須市防災行政課の方々のご協力を得て、3年生対象に交通安全教室を行いました。自転車の安全な乗り方と正しい交通規則を学びました。誰一人として交通事故にあわないことを願っています。



<いよいよ夏休み>

7月21日(水)から42日間の長期の夏休みに入ります。ある研究所の調査によると夏休みには次のような傾向があるそうです。

- ① 家庭での会話が長いほど学習時間が長い。
- ② 体を動かす時間が増える一方「ゴロゴロ」「ボーっと」する時間も多くなる。

6月に全児童に実施した生活アンケートでは、昨年2月の時期よりお家の人と話をする割合が多くなっています。「大人はみな子どもだったのに、そのことを覚えている人は、いくらもない」とはあるエッセイストの言葉です。忙しさの中で、子どもの頃の喜びや悲しみの心を忘れてしまい、大人としての目線だけで子どもたちに接してしまう場合があります。この夏休み、子ども時代の自分を思い出しながら、家庭での会話を一層増やしていただければと思います。

読書、あいさつ、体力づくり

体力づくりについて

昨年度末の学校保健委員会での結果を踏まえ、学校では、子どもたちの運動量を増やそうという工夫をしています。特に部活動では、各顧問が練習方法を見直したり外部指導者の方々の協力を得たりして、子どもたちが楽しく、意欲的に練習できるように工夫しています。

子どもたちに限らず、現代社会では我々大人も運動不足気味になっています。「楽は苦の種 苦は楽の種」「立てば腰痛 座れば肩こり 歩くひざもと神経痛」耳に痛い言葉です。